

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                |            |  |
|---------|----------------|------------|--|
| 事業所番号   | 2370200475     |            |  |
| 法人名     | 有限会社 レジデンシャルケア |            |  |
| 事業所名    | レジデンシャルケア 徳川町  |            |  |
| 所在地     | 名古屋市東区徳川町2714  |            |  |
| 自己評価作成日 | 平成22年1月30日     | 評価結果市町村受理日 |  |

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

オーナーが育った場所にホームは建ち、地域との交流を大切にしている。地下駐車場があり、居間や居室、廊下、浴室など広々としてゆったりと寛ぐ事ができる。家庭菜園では、季節の野菜等を植えて収穫の楽しみの支援している。置下には災害用品や季節用品を保管している。職員は「目配り・気配り・心配り」をモットーに家庭的な雰囲気の中で関わりを大切にその人らしい生活が出来るよう人員配置に余裕を持たせ心に寄り添うケアを目指している。ご利用者様と関わっている職員が話し合いを行ない、介護計画を立案し、計画作成担当者が作成をしている。衛生管理のために洗面所には殺菌効果のあるドクターエアアタールを設置し、水は全館パイウォーターを使用している。アロマランプを焚き、空気の除菌、清浄に努め、リラククス効果を高めている。どなたでも気楽に訪問できる環境を整えている。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.aichi-fukushi.or.jp/kai gokouhyou/index.html">http://www.aichi-fukushi.or.jp/kai gokouhyou/index.html</a> |
|----------|---|

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

|  |
|--|
|  |
|--|

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                    |  |  |
|-------|--------------------|--|--|
| 評価機関名 | 福祉総合研究所株式会社        |  |  |
| 所在地   | 名古屋市千種区内山1丁目11番16号 |  |  |
| 訪問調査日 | 平成22年2月15日         |  |  |

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  | 項目 |   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  |
|----|--|--|----|---|--|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○<br>1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいの<br>3. 利用者の1/3くらいの<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○<br>1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)            | ○<br>1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○<br>1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○<br>1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くない            |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66 | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○<br>1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○<br>1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |    |   |  |

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|-------------------|-----|---|--|------|-------------------|
|                   |     |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I 理念に基づく運営</b> |     |   |  |      |                   |
| 1                 | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 理念の1つに「地域との交流を大切にして地域に根付けるよう努力する」と掲げて、玄関や詰所に掲示をして毎朝の申し送りの際に唱和をしている。全職員が共有できるように日々取り組んでいる。                      |      |                   |
| 2                 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 自治会に加入をし、地域の一員として会議等への呼びかけや廃品回収への参加、敬老会への参加や地元の祭りの山車見物、近隣のスーパーや喫茶店等へ出かけ地域とのつながりを持てるように努めている。                   |      |                   |
| 3                 |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 地域包括支援センターへ出向き、講習をしたり、入居の相談を受けたりしている。また、会議などへの参加をしていただき、民生委員の方と交流をして、相談やアドバイスをさせていただいている。                      |      |                   |
| 4                 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている                                      | 活動内容やホームの取り組み内容を報告をしている。議題に沿っての討議もあり、質問、意見を受け付けている。随時応答をして、全職員が認識できるように議事録を作成して説明もなされている。                      |      |                   |
| 5                 | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる   | 東区地域包括支援センター職員、保健師等の交流も大切にして、市や区の担当者との連携は絶えず行なわれており、助言等をいただいている。保健所の助言を取り入れ、管理栄養士へ相談をして活用している。                 |      |                   |
| 6                 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束をしない介護を行っており、職員間で身体拘束をしないケアの勉強会も行っている。困難な課題のある際にはミーティングで話し合い、ご利用者が安心して過ごすことができるように努めている。また、居室の施錠も行なっていません。 |      |                   |
| 7                 |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                     | 職員は虐待の防止に努め、職員全体で理解ができるように勉強会が開かれている。  |      |                   |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|-----|--|---|------|-------------------|
|    |     |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 成年後見制度や権利擁護に関する制度の理解に努めている。また、勉強会等を通じて、権利擁護についての知識を持てる機会を作っている。                                 |      |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | ご利用者とその御家族に対して、契約の内容・重要事項についても十分な説明を行ない、理解・納得をしていただけるように努めて、不安内容を表出できるように働きかけている。               |      |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | ご利用者、ご家族からの希望や要望をできる限り聴き入れて、運営推進会議などで地域代表の方への報告や相談の出来る機会を設けて運営に反映され、職員間でも情報の共有が出来るように努めている。     |      |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 毎月1回の職員会議と日々のカンファレンスにて、意見や提案を話し合う機会を設けている。また、随時代表者や管理者は聴き入れる機会を設けている。                           |      |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 職員面談の機会があり、職員会議、勉強会、研修を通じて知識の向上や質の確保の為に環境を整えている。また、職員の努力や実績によって表彰の制度を設けている。                     |      |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 施設内外の研修を受ける機会を設けている。知識を身に付けたり、他の施設の方と交流している。新人研修期間があり、情報を共有できるようになっている。また、職員の介護技術を更に向上したいと思っている |      |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 他施設との交流する機会を作り、互いのグループホームを訪れて、サービスの質を向上するために情報交換をしている。他施設や研修に参加した職員が全職員へ向けての勉強会を開催して、質の向上に努めている |      |                   |

| 自己                         | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----------------------------|-----|--|--|------|-------------------|
|                            |     |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |      |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居時はご本人、ご家族と話す機会を設け、職員が協力して、できる限り多くの関わりを取り、好みや不安の訴えなども聞くように努めている。全職員が相手を尊重して、言動を受け止めて、関係作りをしている。 |      |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 入居の相談があつてから、入居をされる時には必ず家族の思い、不安、心配なことを時間をかけてお聞きしている。ご本人とご家族が安心して暮らせるように働きかけて良い関係づくりに努めている。       |      |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | ご本人とご家族と相談をしながら、必要としているサービスを状況にあわせて提供できるように支援をしている。  |      |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 性格や趣向を理解できるように、日々の生活の中で話を伺い、一緒に家事やレクリエーションをして、楽しみのもてる時間を共有し、一方的な立場に置かず、ご本人とご家族との関係を大切にしている。      |      |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | ご家族へは日々の生活の様子を伝えて、情報を共有できるような関係づくりに努めている。ご家族も行事に参加出来るような環境を整えている。一方的な立場に置かず、ご本人とご家族の関係を大切にしている。  |      |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 知人、友人の方に訪問もしていただけるように気を配り、本人が大切にしてきた友人との関係を途切れないように、可能な限り関係を継続していただけるように努めている。                   |      |                   |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                  | ご利用者同士お互いに助け合える温かみのある暮らしを提供できるように努めている。状態を全職員が共有できるように努め、家事、レクリエーションなどでもお互いを気遣い、会話で和むことも多くある。    |      |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 契約を終了しても関係を大切にしている。手紙や電話でのやりとりもして、訪問をしてくださる方もいらっしゃる。また、できる限りの協力をしている。                        |      |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |      |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | ご本人の要望には丁寧に話を聴き入れて一人ひとりの人格を尊重して話をしている。困難な課題にはご本人の立場になり、ご本人を尊重して接している。                        |      |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 入居前、入居後も常に一人ひとりの生い立ちや生活の様子を伺い、把握できるように努め、日々の会話をすることで一人ひとりに合ったサービスの提供を行なえるように努めている。           |      |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 現状を全職員で考えて、24時間の生活リズムの把握に努められるように、日々のカンファレンスやミーティングで話し合いを行っている。ご本人のペースで快く協力をしていただけるように努めている。 |      |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご利用者やご家族の意向や希望をお聞きして、毎日職員間でカンファレンスを開き、現状に即したケアが提供できるように努めている。必要時には随時介護計画の立て直しをしている。          |      |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 毎日カンファレンスを記録して、職員間で情報を共有して、実際のケアに生かしている。また、職員間のコミュニケーションをこまめにとり、最善を尽くしている。                   |      |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | ご本人の状況に合わせて、またご家族の要望に対応できる体制を整えている。必要時には鍼灸師やマッサージなどのサービスを受けられるように取り組んでいる。                    |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|---|---|------|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 近隣のスーパーや近所の方に喫茶店、理美容院等へも出かける機会を設け、廃品回収等に出せるようにご利用者の協力で新聞や広告をまとめている。安心して安全な暮らしができるように努めている。                              |      |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | ご本人やご家族の希望や意見を聞き入れて、かかりつけ医との関係を継続できるように支援をしている。協力医療機関との関係を大切にして、月に2回の往診も受けられる体制を整えている。                                  |      |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 1週間に一度の訪問をしていたため、常に一人ひとりの状況や状態を観察して、異常に気づいた時に24時間いつでも看護師に報告、相談が出来るような体制を整えて、日々の健康管理を行っていただいている。                         |      |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | ご利用者とご家族が安心して病院で治療を受けられるように病院関係者と情報の交換をしている。また、かかりつけ医と協力して、入院中も主治医、担当看護師と連携をとり、関係作りをしている。                               |      |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | できる限り早い段階から、話し合いを重ねて、ご本人とご家族が納得できるように十分に説明して安心安全な環境を整え、連携をとり職員間でもカンファレンスやミーティングで密に話し合いをして、ご本人にとって最善の方法を提供できるように支援をしている。 |      |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 急変時の対応方法や事故発生時の対応についてのマニュアルの作成をしてあり、いつでも閲覧できるようにしてある。また、勉強会を行っている。管理者がいつでも対応できる体制を整えている。                                |      |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 災害対策として、消防者職員のご指導の下、防災訓練を行なっている。消火器の位置の把握もしている。全職員が理解できるようにマニュアルが作成してあり、地域の自治会や消防団とも密接な関係を築いている。                        |      |                   |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |      |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 常に思いやりや尊敬の念を思い、声のトーンや言葉遣いや態度に気を配っている。しかし馴れ合いの言葉遣いが場合によりでることに反省をしている。                            |      |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 積極的に関わりを持ち、ご本人の思いを汲み取り、表情や動作などに気を配り、希望を表出できるように努めている。、安心して暮らせるように本人が自己決定できるように働きかけている。          |      |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ご本人の希望を聞き入れて、個々の生活パターンを優先するようにしている。一人ひとりのペースを大切にして、楽しみを持てるように作業や家事に協力をしていただいている。                |      |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 本人の希望に沿うように整髪をして、好みの服装を着用できるように援助している。毎朝、起床時に髪をセットして、出来ない方への援助をしている。清潔感のある、季節に合わせた更衣をしていただいている。 |      |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている     | 手作りの物を心掛けており、食事作り、盛り付け、後片付け、食器洗いや食器拭き等個々に得意とすることにお手伝いをいただいている。一緒に楽しめるように努めて食前には今日の献立を丁寧に伝えている。  |      |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 水分をこまめに摂られるように気を配り、チェック表を活用して確認をしている。ペットボトルや水筒を用意して摂取していただいている。目で楽しめ、バランス良く食べられるように工夫をしている。     |      |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 毎食後歯磨きを行ない、介助を要する方には状況に応じて支援をしている。コップの消毒や義歯の洗浄も行なっている。また、定期的に協力歯科医院の先生によりブラッシング指導をしていただいている。    |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|---|---|------|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 一人ひとりの排泄のパターンを把握できるように職員が協力して、トイレでの排泄に向けて支援をしている。また、おむつの着用を減らすことが出来るように支援をしている。                                       |      |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 水分を多く摂られるようにこまめに勧めて、食事野菜を中心として食物繊維を多く摂られるようにバランスのよい食事作りに努めている。毎日体操を行なうとともに廊下を楽しみながら歩けるように努めている。                       |      |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 一人ひとりの入浴時間を尊重して、好みの入浴剤や季節ごとに菖蒲湯などを楽しんでいただいている。また、週に3回の入浴ができるように工夫をして、ご利用者に合わせて行なっている。                                 |      |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 安眠に繋がるように体操やレクリエーションに参加していただき、喜びや楽しみの提供をしている。また、一人ひとりの状況に応じて休息をしていただき、安心して過ごしていただけるように支援をしている。                        |      |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 薬の利き方や副作用が理解できるようにファイルされており、症状の変化の気付けるように努め、異変に気付いたときには必ず報告をしている。薬を扱う時には2人の職員で確認をして配薬の際にも気を配っている。                     |      |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 個々の機能と好みに合わせて対応出来るように、役割の持てる支援をしている。笑顔を引き出せるように歌・ぬり絵・パズル・体操・ゲーム・読書・家事・裁縫・散歩等を通じて気分転換できるように支援をしている。                    |      |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 多くの外出機会ができるように、買物、喫茶店、散歩等できる限り外出の機会を持ち、ご利用者のストレスが溜まらない様に配慮をしている。行事を行なう際もご家族の協力を得て、芝居見物やお花見、紅葉狩り、遠足等へ出かけられるように支援をしている。 |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|--|---|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 必要とする時に自由に使えるように支援をしている。基本的には混乱や紛失などのトラブル防止の為に本人が希望をされる方以外には金銭を所持しておりません。                                     |      |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | ご本人の希望のある場合は電話をしていたり、また、ご家族からの電話を取り次いでいる。手紙や葉書などのやりとりもあり、気軽に面会に来られるような環境を整えている。                               |      |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 過ごしやすい様に、温度や湿度にも気を配っている。ベランダには季節の花を植え、壁面には季節に合った貼り絵やイベントの写真を掲示している。臭いにはアロマランプを焚きリラックス効果を高め、ゆったりと過ごせる環境を整えている。 |      |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | お好きな時にいつでも使用の出来るソファや長椅子、畳スペースがあり、レクリエーションや談笑ができる環境を整えている。また、安心して過ごせるように環境を整えている。                              |      |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | ご本人の馴染みのある家具を持ち込んでいただき、思い出のあるものを飾っていただいている。居心地良く過ごしていただけるように工夫をしている。  |      |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | リビング、廊下、浴場、トイレなどに手すりが設置しており、各居室には表札が掲げられている。ベッドの位置もご本人の身体的機能や好みに合わせて設置して、安全に自立した生活が送れるように配慮している。              |      |                   |